

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
43000	X-13-B-2-430001	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
地域情報システム（後期）	藤田 晴啓			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	2年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年	

#### 授業目的

情報文化学部のディプロマポリシー「仕事の仕組みをシステムの考え、データを重視した論理的な判断ができること」、その具体的手法として「地域経済分析システムによるヒト・モノ・カネの流れの可視化」がある。地域経済分析システムでは従来の自治体毎の人口の社会増減や地域経済データの可視化に加え、モバイル空間データから取得された、時間毎のヒトの密度を可視化することが可能で、ヒトの流れが可視化できる。人口動態とその原因、産業構造と衰退する産業、人がもっと定住して付加価値を生み出す複数策を統合して、地域創生政策アイデアコンテスト応募に向けたプレゼン素材を作成することを目的とする。

以上の地域創生政策立案のためのプロジェクトを習得するため、地域経済分析システム事例集に沿い村上市、聖籠町、五泉市・見附市、魚沼市、湯沢町、津南町、糸魚川市の各分析事例を参考に、グループ毎に分かれた出身自治体（新潟市の場合は各区）の人口動態特に社会増減とその原因、地域の産業業種の特徴と年次における盛衰、滞在人口やメッシュ分析によるヒトの流れの把握、地域のアイデンティティや伝統文化は何なのか、地域の特色産品やアイデアで伸ばせる業種育成と若者の定住を増やせる雇用の増大、小学生からの地域人材育成プログラムの創出。これらすべてを有機的に結合した地域創生政策案の提言を行う。

#### 各回毎の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】講義・実習の意義と目的 なぜ地域経済分析システムを学ぶのか？「RESASによるデータの可視化」が地域創生政策案作成にどのように不可欠なのか 【前・後】地域創生コンテスト受賞プレゼン事前講読 http://sys.amsstudio.jp/region/baggage_ace/tokyo/000013750/doc/00601.pdf テキスト1-10 事前講読理解2時間 授業実施全分析の復習2時間</p> <p><b>第2回</b> 【授】出身地自治体毎のグループに席着 村上市事業所数・従業員数の経年変化およびバブル図作成方法の説明および作業 【前・後】テキスト12-18 事前講読2時間 ワークシート・バブル図作成2時間</p> <p><b>第3回</b> 【授】聖籠町の人口の増減に関する事例およびワークシート2作成方法の説明および作業 【前・後】テキスト20-26 事前講読2時間 出身自治体人口社会増減ワークシート作成2時間</p> <p><b>第4回</b> 【授】五泉市・見附市における繊維工業に関する分析、製造業の構造および付加価値額増減率の要因分析 【前・後】教科書28-34 事前講読2時間 授業で実施した全分析の復習2時間</p> <p><b>第5回</b> 【授】人口の社会増減、RESAS 欠落データの逆算方法、グループ独自地域の主力・特色産業の選定について 【前・後】テキスト36-41 事前講読2時間、人口欠落データの逆算2時間</p> <p><b>第6回</b> 【授】湯沢町における観光に関する分析、滞在人口、外国人滞在分析、各グループで選んだ地域の主力あるいは特色産業の分析、小売卸売業、農業、製造業いずれか選択 【前・後】テキスト44-49 事前講読2時間、グループ内担当作業2時間</p> <p><b>第7回</b> 【授】滞在人口の月別推移と流動人口メッシュ（事例集糸魚川市における観光分析）地域創生ワークシートによるグループプレゼン作成の基準と具体的作成方法、グループ内における分担決定、作業 【前・後】テキスト58-64 事前講読2時間、グループ内で分担した各自作業2時間</p> <p><b>第8回</b> 【授】発表プレゼンファイル構成の確認および発表プレゼン作成（グループワーク2） 【前・後】ワークシート事前講読2時間、グループ内で分担した各自作業2時間</p>	<p><b>第9回</b> 【授】津南町における農業に関する分析、農業部門別販売金額の推移と農業生産関連事業の実施状況 【前・後】テキスト52-56 事前講読2時間、グループ内で分担した各自作業2時間</p> <p><b>第10回</b> 【授】糸魚川市における観光に関する分析、人口流動メッシュ、まちづくりマップ 【前・後】テキスト58-64 事前講読2時間、グループ内で分担した各自作業2時間</p> <p><b>第11回</b> 【授】グループワーク1 地域創生政策案の準備、各自自分の出身地（市町村単位）の人口動態、産業構造、問題点を抽出、出身地ごとに集まり調査エリアの選定の議論を行う。調査項目の提案 【前・後】RESASによる出身地事前調査2時間、グループ内で分担した各自作業2時間</p> <p><b>第12回</b> 【授】グループ別発表会1 【前・後】グループ内で分担した各自作業2時間、グループ内で分担した各自作業あるいは小テスト準備2時間</p> <p><b>第13回</b> 【授】グループ別発表会2 【前・後】グループ内で分担した各自作業2時間、グループ内で分担した各自作業あるいは小テスト準備2時間</p> <p><b>第14回</b> 【授】グループ別発表会3および小テストの出題範囲事前通知 【前・後】グループ内で分担した各自作業2時間、小テスト準備2時間</p> <p><b>第15回</b> 【授】小テスト 【前・後】小テスト準備2時間、小テスト自己採点2時間</p> <p><b>第16回</b></p>
---	---

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10						10
宿題・授業外レポート	10	10				10	30
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）	10	10	10	20	10		60
演習							
その他							

#### グループ発表採点基準

タイトルページを含む10スライド以上のプレゼンファイルにて発表し、発表者以外の履修生全員が個別に発表グループ毎のGoogle Form サイトにて「はい」「いいえ」を選択し、全員の平均点を算出する

- 1 地域の課題、明らかにしたいリサーチクエッションは明示されているか（5点）
- 2 バブル図で医療福祉以外の伸びている、衰退している業種を説明したか（5点）
- 3 地域のアイデンティティ、歴史、文化、伝統が創生案に組み込まれているか（5点）
- 4 人口社会増減、年代別の特徴と、その原因について解析説明はなされたか（5点）
- 5 人口減少への具体策、若者定住増等への具体的提案はあるか（5点）
- 6 具体的な若年世代からの人材育成プログラムは創生案に組み込まれているか（5点）
- 7 具体的な業種育成による産業強化プログラムは創生案に組み込まれているか（5点）
- 8 全体の地域創生プログラムのつながりを示す全体構成図は作成・説明されたか（5点）
- 9 個々の地域創生プログラムが有機的にどのようにつながり、どのような波及効果を起こすのか説明されたか（5点）
- 10 文章がなく、箇条書きか（5点）
- 11 文字は十分大きい（5点）
- 12 画像は十分使われているか（5点）
- 13 イラストは十分使われているか（5点）
- 14 グラフ・表は十分つかわれているか（5点）
- 15 役割分担は全員に適当になされたか（5点）
- 16 声は大きくはっきりとしていたか（5点）
- 17 時間は十分使われたか（5点）
- 18 発表者の熱意は伝わったか（5点）
- 19 納得のいく地域創生案だったか（10点）

#### 教科書参考書

「RESASの教科書」日経BPは使用しません。理由は2017年初頭にRESASメニュー体系が大幅に変更となり、教科書がそれに対応していないためです。

代替として「新潟県における地域経済分析システム<RESAS>利活用事例集（新潟県）の冊子または同冊子 pdf ファイルを配布します。

受講に当たっての留意事項

上記に記述している各回毎の授業内容はあくまで目安で授業実習進捗状況により変更されます。  
講義連絡・事前準備・レポート内容作成方法等は全てポータルで連絡しますので、少なくとも1日前に確認して各自対応してください。  
レポート等の剽窃（盗用）はどちらが盗用したかにかかわらず、D判定となります。  
私語厳禁、まわりに迷惑を与えるので、注意は1回までとする。2回目以降は退席を勧告。  
授業中スマートフォン等の携帯端末使用は、即刻退席してもらいます。

学習到達目標

- 1 RESAS による地域産業マップ、経済循環分析等のデータ可視化により地域産業および経済循環が解析できる（レポート10%、口頭発表20%）
- 2 RESAS による人口流出、産業の特色、ヒトの流れ等が分析できる（レポート10%、口頭発表20%）
- 3 地域の産業育成・人材育成プログラムをアイデアを生かしグループで作成できる（口頭発表20%）
- 4 地域創生政策立案の一連のプロセスを理解できる（小テスト10%）

JABEE

(2018年度入学以前)関連する学習・教育到達目標：H

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習